

# Employee's Profile



名古屋本社ブッキングチームに所属しております、河原崎と申します。ブッキングチームに加わってから、二年目に入りました。普段の業務内容は、ブッキングの受付、変更、それらに付随する書類作成等です。以前は、同じく名古屋本社で輸出貨物のドキュメントチームにおり、B/L作成や発行等を担当しておりました。輸出業務に関してまだまだ不慣れな点が多いですが、お客様の大切な貨物をスムーズに、且つ確実に輸送するためのサービスを提供すべく、日々努めております。円滑に輸送が進むようにサポートして参りたいと思えます。たくさんのブッキングをお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。 名古屋本社 河原崎

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



## 海 運 豆 知 識

### 船の塗料とカラーコーディネーション

船舶の塗装は、塗られる場所により、船底塗料、水線塗料、外舷塗料などに分けられる。それぞれ塗料の種類も色も異なり、さらに船の種類によってカラーコーディネーションの傾向も異なっている。船底塗料は、文字どおり船の一番底の部分に塗られる塗料で、ドックに入っているとき以外は、普通、目に触れることのない部分だ。防蝕性や生物の付着を防止する性質をもつ塗料が使われ、色は一般に赤褐色となっている。水線塗料は、満船時には水面下に沈み、空船時には水面上に出る部分に使われるため、防蝕性や生物付着防止性ととも耐候性や耐摩耗性も求められる。色は赤が多いが、緑色が使われる場合もある。外舷塗料は、常に水面上にあるため、防蝕性、耐候性、耐摩耗性などが求められる。この部分の色は、一般にタンカーやばら積船では黒、客船やフェリーでは白、軍用艦などでは灰色が多く用いられるが、コンテナ船などの定期貨物船では、黒、白、青、クリーム色、赤、灰色とさまざまだ。また甲板に塗られるデッキ塗料には、荷役を始めとするさまざまな作業が行われることから、防蝕性、耐候性、耐摩耗性、耐油性、耐衝撃性などが要求される。色は、晴天時の作業などでの反射によるまぶしさを緩和するため、灰色、茶色、緑色系統の塗料が多く用いられる。ブリッジなどの上部構造物は、商船の場合ほとんどが白またはクリーム色だ。船体塗装の中で、もっともカラフルな部分が煙突（ファンネル）。ここには所属する船会社のアイデンティティを示す色やマークの塗装（ファンネルマーク）が施されている。人間の服装でいえば、ネクタイやスカーフにあたる船のいちばんおシャレな部分がかこだ。

## ク イズ

### 【問題】

ある細菌は、一分経つと二個に分裂し、また一分経つとそのそれぞれが分裂し、合計四個になる。こうして一個の細菌が瓶にいっぱいになるのに一時間かかるとする。同じ細菌を最初二個から始めると、瓶にいっぱいになるまでに何分かかるでしょうか。



クイズの答え、お名前、プレゼントの送り先、本誌を読んだ感想を明記の上 ncustomer@jpntrust.co.jp までお送りください。正解された方には 3000 円の商品券を差し上げます。5月15日締め切り。